

令和8年第1回おいらせ町議会定例会

一般質問通告書（3人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	14番	西館芳信議員	一問一答方式
2席	11番	平野敏彦議員	一問一答方式
3席	4番	小笠原伸也議員	一問一答方式

順位	1席	議員 氏名	14番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. 町内小・中学校の生徒数の現状とこれを踏まえた学校経営について

青森県の人口は昨年10月現在で、116万5千人であり、かつての150万人からの激減で、100万人の割り込みもカウントダウンの様相を呈してきた。

これに伴う少子化による児童、生徒数の減少は、我が町でも子供たちから、より良好な教育環境を奪い、学校経営に深い影を落としているとされる。これに関連し、次の4点を問う。

- (1) この10年間の町内全ての小・中学校の児童生徒数と学級数の変遷を減少の度合いがわかるように教示願いたい。
- (2) 特に甲洋小、下田小では、学級維持が危ぶまれる数字になっているが、学校経営の観点から、教育委員会はこれをどのようにとらえ、どんな将来的対応が必要と考えているのか。
- (3) 各校ごと、普通教室の特別支援学級を設けているが、特別支援の定義は何か。また、普通学級の児童、生徒数に比較しての特別支援学級の児童、生徒数の割合を教育委員会はどのように考え、今後、どう対応していく方針なのか。
- (4) 現状打破の一手法として昨年4月に開園した六戸町の六戸学園の形態も一方向と言えるのか、問題点を含めた可能性について言及していただきたい。

2. 令和8年度の一般会計当初予算案について

町は先の2月18日議員全員協議会で令和8年度一般会計当初予算案を明らかにした。

それによると昨年比2.1億円減の121.1億円の規模となっている。

詳細な数字のやり取りについては予算委員会に委ねるが、本議会を締め括りに勇退を表明した成田町長に、次の2点を問う。

- (1) 成田町政は通算3期にわたるものであるが、その中には2011年の「3.11東日本大震災」、2020年からの「コロナ禍」がある。この間、2期に及び国主導とも言える災害、防疫対応による業務過多があり、財政運営に独自色を出すことには、いささかの制限もあったかと思うが、通常時に復したと思える昨今、本予算編成にあたっての、成田カラーの反映があったら、お示し願いたい。
- (2) 全くの個人的見解であるが、成田町政の一貫した実績は堅実な財政執行にあったと思うが、教育、文化の振興面では物足りなさも拭えなかったと思う。

令和8年第1回定例会 一般質問

順位	1 席	議員 氏名	1 4 番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
<p>新町長に財政面で特化してでも振興に励んでほしいと思う分野や事業があったらお示し願いたい。</p>					

順位	2席	議員 氏名	11番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. 町長の進退について

- (1) 町長は、新年号の広報がまだ配布されない12月25日の報道陣の取材に勇退を表明しました。
3月25日任期まであとわずかです。勇退に当たり、在任中の実績と評価について、お伺いいたします。
- (2) これまでの町政運営で、町の将来に期待できると思う点について、お伺いいたします。
- (3) 最後に、町民に向けてのメッセージがありましたら、お伺いいたします。

2. おいらせ町大会出場補助金交付要綱の見直しについて

- (1) おいらせ町大会出場補助金交付要綱では、町のスポーツ又は文化の振興発展を図るため、各種大会に出場する個人または団体に対し、補助金の交付があります。交付要綱第2条第1号の規定に「町内の小学校児童及び中学校生徒の部活動が大会に出場する事業」とありますが、中学校部活動の地域移行に伴い、部活動継続について、生徒や父兄への対応をお伺いいたします。
- (2) 大会に参加するスポーツ少年団、クラブ活動等指導者に対する補助が、代表指導者1名とあります。
コーチ・帯同審判等、団体競技への配慮について、お伺いいたします。
- (3) 宿泊経費として一人1泊7,000円が上限となっております。また、自動車燃料等の(2)で、自家用車の使用は1台3,000円、近隣は1,500円とあります。見直しの考えがないか、お伺いいたします。
- (4) スポーツ少年団等大会出場事業の全国大会出場経費の7割補助を8割にしてはどうか、お伺いいたします。
- (5) 別表の備考で、町以外の団体からの補助金、寄附金を受けた場合は、補助対象経費から差し引いた額を経費とするとあります。これまでに、どのような事例があったか、お伺いいたします。
- (6) 上記の見直し内容を踏まえた、おいらせ町大会出場補助金交付要綱の改正時期について、お伺いいたします。

順位	3席	議員 氏名	4番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. おいらせ病院の経営について

県内の自治体病院の2024年度決算（新聞発表）をみると、赤字病院の割合は、前年の6割から9割に拡大している。国民健康保険おいらせ病院も赤字である。町民に安心できる医療を提供しつづけるために、おいらせ病院の経営改善が急務と思われる。以上の点を踏まえ質問する。

- (1) おいらせ病院は、2024年度の経常損益は、6,800万円の赤字である。その赤字の主な要因を伺う。また、どのような改善策があるのか伺う。
- (2) 累積欠損金は、1億6,600万円である。前年度よりも6,400万円増加している。今後の病院事業継続において、具体的に何らかの影響があるのか伺う。
- (3) 近年の入院患者数、外来患者数はいくらか。今年度の予測数はどうか伺う。
- (4) 病院の赤字を補填するために、町の一般会計から病院の特別会計への程度財政支援をしたのか伺う。
- (5) 六戸診療所が今年度末で廃止される。毎年多額の財政支援が続いてきたことが原因である。おいらせ病院は、町民に安心できる医療を今後提供しつづけられるのか伺う。

2. 街の幸福度について

- (1) 賃貸住宅建設大手企業の調査による「街の幸福度ランキング2025」の東北版が昨年11月に発表された。新聞に掲載されており、町民の関心も高い。各自治体でも首長が式典や会議時にランキングの話を述べることもある。六戸町が2年連続で2位である。一方、おいらせ町は、前年4位から順位を下げて13位に後退した。その要因をどのように分析しているのか。また、今後改善するための方策を伺う。

3. 生活支援クーポンについて

物価対策として、おいらせ町が1月までに町内1万世帯を対象に配ったクーポン券について町民からの苦情や要望等が多くあった。政策の妥当性を問う。

- (1) 町広報紙1月号にクーポン券を折り込んで配布している。町内会に加入していない家庭にも配布されたのか。過不足や問題点はなかったのか伺う。

令和8年第1回定例会 一般質問

順位	3席	議員 氏名	4番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
<p>(2) 昨年5月に国から物価高騰対策重点支援地方創成臨時交付金として町に1,200万円配分され、クーポン券の財源としている。6月ごろから、すぐ活用しなかったのは、どうしてなのか伺う。また、近隣市町村の状況はどうか伺う。</p> <p>(3) おいらせ町は、農家をはじめ、米が既にある一般家庭でも、クーポン券を使わない場合が生じてしまう。現金給付や商品券、電気ガス水道料金高騰分への補填等、別の活用方法はなかったのか。また、対象店舗が少なかった理由を伺う。</p> <p>(4) 2月3日でクーポン券利用率は2割程度である。2月15日最終日までの利用率はどうだったのか伺う。また、クーポン券が利用されなかった分の予算はどうなるのか伺う。</p>					